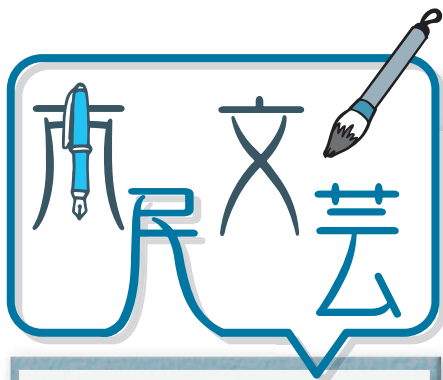




教室紹介

多久市民大学「ゆい工房」

焼き物教室

世界にひとつだけの
素敵な焼き物
つくる楽しみと
使う楽しみを
味わいましょう



指導を受け、テーブルろくろを回しながら、茶碗作りに初挑戦の受講生（多久工芸室）

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

生きるとは耐ゆることは存ずれど何と試練の多きこの世か
京大に合格かれは門までつれて行く孫との約束外は雪ふる
年賀状書き出しおれば出せぬ人何枚もあり面影浮かぶ
久に訪う吉野ヶ里のコスモス園思い出一挙に胸にあふれ来る
秋春香となりたる友と夢に居て登校の子らの声に目ざむる
尾形 節子
内田 龍子
田渕ミチ子
本田 静香
迎 寿代

俳句

《あざみ句会 互選》

水仙の匂ひに深く膝を折る
団子鼻つけて仕上がる雪だるま
年毎に小さくなりし鏡餅
質素なる一人暮らしの水仙花
ひらがなの孫の手書きの年賀状
大石ひろ女
中嶋 清子
武富 律子
川内すみ子
光野 正子

川柳

《多久市川柳会 互選》

健康の福の周りに福が寄る
脳トレに毎夜社説を音読す
サヨナラと言えずマタネと言う別れ
逆縁に鳴咽が続く野辺送り
冬枯れにビニールで包む思いやり
西山 残月
猪ノ口昭子
松下 修
富安 正喜
古賀ちひろ

付け、本焼きの工程を経て、仕上げます。講師は「上達のコツは好きなことが一番。作る楽しみと使う楽しみを味わってほしい」と話し、受講者の体験時間に合わせながら指導。贈り物や講師も感心するほどの作品に挑戦するベテランも、土との初たわむれに感動しながら悪戦苦闘する初心者も、世界に1つだけの焼き物づくりに熱心でした。

ゆい工房開講後2年目から続く人気の『焼き物教室』は、寒鶯窯の田中邦子さん（東多久町）の指導が受けられる唯一の教室で、粘土の量にあわせ幾種も自分の作りたいものにチャレンジできるのが特長です。
今期は13人が受講し、初日の2月6日は、ひも作りの手法で茶碗やマグカップ、皿などが成型されていました。その後、削り、乾燥、素焼き、釉薬

人権教育 No. 155 と生きる

国際女性デー
International Women's Day

毎年3月8日は、「国際女性デー」です。みなさん、ご存知でしたか？女性性が、男性同様に社会参加することを目的とした運動が始まりで、1975年に、国連が毎年3月8日を記念日と決めました。現在ではロシアをはじめとする多くの国々で女性性を讃える祝日になっており、女性へ花を贈る習慣があります。
多久市男女共同参画推進市民委員会では、今、社会的に人と人とのつながりが希薄になってきたという思いがして、一年に一度でも感謝の気持ちを言葉で伝え、心の中に少しでも

温かな灯りがともってもらえればいいなあという思いで、国際女性デーにちなみ「ありがとうカード」の作成をしました。

例えば

・夫から妻へ
（仕事と家事に頑張ってくれてありがとう）
・子どもからお母さんへ
（いつもおいしいごはんありがとう）
・嫁から姑へ
（子どもをみてくれてありがとう）
・父から娘へ
（明るい笑顔をありがとう）

など、日頃は口で言えないありがとうに一言添えて、そっと差し出してみてはいかがでしょうか。

この小さな行いが、ハーモニーとなり水の輪のように広がっていくことを願っております。

多久市男女共同参画推進市民委員会